

研修報告 議会運営委員会

群馬県昭和村議会を研修



去る7月23日、議会活性化の取り組み状況を調査するため、昭和村の議会活性化への取り組みについて研修してまいりました。

取り組み状況

① 村民との交流

村内で開催される各種イベント等に積極的に参加し、交流を深めながら、意見交換等を行うなど、親しみやすく開かれた議会活動を行っている。



② 住民に見える議会

議会広報紙を年4回発行し、活動状況を正確に伝え、多くの人に読まれる広報づくりを目指し、住民参加の企画や写真等を多用し、親しみやすい広報紙の発行している。

③ 中学生による模擬議会の開催

議法定例会等の仕組みを理解し、関心を高めるため、平成17年度より中学生による模擬議会を開催し、次世代を担う後継者の育成に努めている。

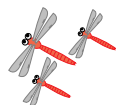


昭和村の概要

人口	7,783人
世帯数	2,268世帯
面積	64.17km ²
議員定数	12名
委員会	2 常任委員会
	議会運営委員会
	昭和村総合開発対策特別委員会
	村づくり対策特別委員会
	昭和村議会広報編集特別委員会



昭和村議会は、「たくましく、やさしい村」を目指し、村民の意思が、村政に反映される行政が行われるようにと、常に村民の立場に立って議案等の審議に当たっており、今後の城里町の議会運営に大いに参考となる研修でありました。今後の城里町の議会運営にも十分活用し、開かれた議会づくりと議会の活性化に努力してまいりたいと思います。



■ 会社概要 ■

【会社名】 (有)安曇野三郷
ハイテクファーム
【所在地】 〒399-8101
長野県安曇野市三郷明盛1064-1
【業務内容】
清浄野菜(無農薬)の生産販売
信州安曇野産野菜及び加工品の販売
【創業年月日】 平成10年6月17日
【資本金】 500万円
【従業員数】 10名

去る7月30日、農業従事者の高齢化、農産物価格の低迷等農業を取り巻く状況の厳しい中、先端技術を生かした施設で、消費者が求めている安全安心な野菜栽培に取り組んでいる会社を視察してまいりました。

研修報告 産業建設常任委員会

長野県安曇野市 (有)安曇野ハイテクファームを視察



残留農薬問題に気をもんでいた、この会社の代表の方が、安全安心な野菜をつくりたいということで、平成11年、農業生産体制強化総合対策事業により、植物工場を建設しました。

この工場は、面積が、837.33㎡で、完全制御型のため、一定量、一定品質の野菜の連続生産が可能で、空気中の二酸化炭素を必要分だけ、自由に吸収できることから、生育が均一で、約1ヶ月で収穫できます。

噴霧耕による立体水耕栽培装置で、人工光を使い、日照時間や天候に左右されず、サラダ菜、リーフレタス、わさび菜などの10種類の野菜を生産しています。

また、工場で生産される野菜は、完全無農薬であり、日持ちが良く、各作業に衛生管理手法を取り入れて、細菌数を低レベルに抑えられているため、外葉までほぼ使い切ることができ、安定生産により価格の変動がないということなのです。

施設等の建設費に莫大な金額がかかり、生産品目が少ないなど、課題も多いが、新しい農業形態として国においても建設費の半分を補助する制度等を導入し、普及拡大に力を入れていきます。

今回の研修を終えて、新しい農業形態として、また農業活性化の起点となれば、農業の雇用の拡大、消費者が求めている安全安心なものを生産できるのではないかと思います。本町の農業振興を図る上で大いに参考となる研修でありました。

